８総政第61号
令和８年(2026年)11月17日

長野県総合計画審議会
会長　佐藤　慎次郎　様

長野県知事　阿部　守一

次期総合５か年計画の策定について（諮問）

本県は、令和５年に長野県総合５か年計画（しあわせ信州創造プラン 3.0）を策定し、「確かな暮らしを守り、信州からゆたかな社会を創る」ことを目指し、県民の皆様とともに取り組んでおり、来年度、計画の最終年度を迎えます。

長野県誕生 150 周年の節目を迎えた今、人口減少の本格化、気候危機の深刻化、ＡＩをはじめとする技術革新の進展、国際情勢の不安定化など、本県を取り巻く環境は大きな転換点にあります。

こうした変化に的確に対応するため、これまでの取組の成果と課題を検証するとともに、ジェンダー主流化をはじめ多様な視点を取り入れ、従来の発想にとらわれることなく未来への投資や社会の基本設計の更新などを意識しながら、県民の皆様が希望と安心を実感できる長野県を築いていく必要があります。

このため、150 年の歩みの先を見据えた長期的な将来像を描くとともに、それを踏まえた今後５年間の県づくりの方向性を県民の皆様と共有する次期総合５か年計画を策定したいので、長野県附属機関条例第２条の規定により貴審議会の意見を求めます。

この用紙は、県の使用済古紙を県庁で再生し作成しました。